

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

②施設・事業所情報

名称：	青葉フレール保育園	種別：	認可保育園	
代表者氏名：	園長 赤石 恭代	定員（利用人数）：	120（119）名	
所在地：	225-0003 神奈川県横浜市青葉区新石川2-9-6			
TEL：	045-913-1151	ホームページ：	https://freres.ed.jp/aoba/	
【施設・事業所の概要】				
開設年月日	2006年4月1日			
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人 春明会			
職員数	常勤職員：	24 名	非常勤職員：	30 名
専門職員	保育士	39 名	栄養士	2 名
	看護師	0 名	調理員	8 名
	事務員	1 名	保育補助	3 名
施設・設備の概要	居室数	保育室 7室、沐浴室、調乳室、調理室、ホール、事務室、談話室、休憩室	設備等	トイレ、園庭、駐車場

③理念・基本方針

～保育理念～

よく食べ よく寝て よく遊ぶ 青葉フレールっ子
 より愛し より信じ より高く 青葉フレールっ人
 そして BIG SMILE

～保育方針～

- ・ 温かい家庭的な雰囲気の中で、一人一人を大切に、愛情をもって保育します
- ・ 遊びを重視し、友達とのかかわりを大切にします
- ・ 心を育てる保育を心がけます

④施設・事業所の特徴的な取組

保育方針に、「温かい家庭的な雰囲気の中で、一人ひとりを大切にして愛情を持って保育すること」を掲げ、子どもの人権を尊重した保育を行うよう努めています。職員は、年度初めに虐待等信用失墜行為などについて記された職員重要事項確認書を読み合わせ、同意書を提出しています。年2回横浜市の人権チェックリストに基づいてチェックするほか、毎月保育と人権について保育者個々が振り返りを行い、子どもを肯定的に受け入れる保育を心がけています。

また、保育方針に、「遊びを重視し、友達とのかかわりを大切に、心を育てる保育を心がけること」を掲げ、子どもの主体性を尊重し、子どもが遊びを選んで遊ぶことができるよう、かつ十分に遊びこむことができるよう環境設定を工夫しています。その一環として昨年からランチルームを設け、2～5歳児が自分の食べたいタイミングで食事を行うことができるようにしています。3～5歳児クラスでは、職員が話し合っ、子どもたちが共同で活動できる保育内容を考え、子ども同士で意見交換できるようサークル会議を開いています。夏祭り、フレールフェスティバルやBIGすまいるでー(生活発表会)など大きな行事についても子どもたちの考えを取り入れています。

食育にも力を入れており、年間食育計画のもと、食材に触れることからはじめ、3～5歳児クラスでは、野菜の栽培や調理保育を行い、食に関する興味を育てています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年4月25日 (契約日) ~ 2023年10月13日 (評価結果確定日)
受審回数 (前回の受審時期)	2 回 (2017 年度)

⑥総評

◇特長や今後期待される点

◆子どもの主体性を尊重して保育を行っています

子どもが主体性をもって遊ぶことができるよう、絵本や製作などさまざまなコーナーを工夫し、子どもが活動を選んで遊べるよう環境を整えています。週2回夕方、ホールで全園児を対象にリズム遊びを行っており、子どもが自発的に参加してリズム遊びを楽しんでいます。今年度からランチルームを設け、2～5歳児を対象に、子どもたちが空腹を感じたり遊びに満足できたりしたタイミングで昼食や間食を摂ることができるようにしています。3～5歳児クラスでは、子ども同士で話し合いをするサークル会議を開き、5歳児は行事の取り組み内容も話し合っ決めていきます。これらの取り組みは、子どもたちの主体性を尊重した取り組みとなっています。

◆子どもの人権を大切にしています

子どもたちの人権を尊重した保育を心がけています。職員は、年度初めに信用失墜行為の禁止などについて記載した職員重要事項確認書を読み合わせ、同意書を提出しています。昨年度は外部講師より人権について学ぶ研修を受け、その後、毎月保育者が個々にシートを使って保育の振り返りを行い、その中で「子どもを呼び捨てにしていないか」「子どもの発信や行為を否定していないか」など14のチェック項目に基づいてチェックをしています。また、保育や仕事で悩んでいないかについても相談シートを設け、職員の不安解消に努めています。横浜市の人権擁護のチェックリストも活用し年2回のチェックを行うなど、園全体で人権意識を高めています。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価受審は、今回で3回目となりました。受審経験者の職員が多くいますが、神奈川県方式となってからは初めての受審でした。

全職員で一つ一つの項目を確認し、園の実践と運営を振り返り、自己評価に取り組むことができたことはとても有意義でした。職員の園に対する理解が深まったり、新たな気づきを共有することができたりし、園のスキルアップの機会になったと思います。

昨年度末よりICT化を導入し、保育運営においても新たな一歩となりました。便利なことがたくさん増えましたが、職員は日々の保育を大切にしています。

園内研修では、様々なテーマを題材に職員同士、保育について語り合うなど日々の学びを継続しながら、保育の充実に向けて取り組んでいます。

受審結果を通して評価できる点と今後取り組んでいくべき点や、保護者の方のニーズを全職員で共有し、総評の中でも評価して頂いている子ども一人一人の育ちを大切に、子どもたちが主体的に生活できる保育を進めていきたいと思っています。

最後に、お忙しい中アンケートにご協力頂きました保護者の皆様、丁寧な調査をして頂いた評価機関の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり